

アジア太平洋地域における農水産物・食品に関する 冷凍・冷蔵技術普及支援事業 [新規]

【21（一）百万円】

対策のポイント

アジア太平洋地域における食品ロスの削減及び同地域への我が国からの農水産物・食品の輸出促進を図るため、我が国の持つ冷凍・冷蔵技術等の普及を行います。

<背景/課題>

- ・APEC参加国・地域の途上国では、収穫後の食品ロスが、食料安全保障上、大きな問題となっています。主な原因としては、低温物流網の未整備による生鮮生産物の劣化・腐敗等があります。
- ・また、APEC参加国・地域にはアジア地域、中・南アメリカ地域の経済成長著しい国々があり、それらの地域においては、経済発展に伴う食生活の多様化等を背景として、低温物流網整備への要望が高まっています。
- ・このような中、APECでは、低温物流網整備に向けた取組みなどについて合意し、APEC首脳により実行が指示されました。農水産物・食品に関する優れた冷凍・冷蔵技術やこれら技術の効率的な運用ノウハウを持つ我が国は、本件に関するリード・エコノミーとなっています。
- ・官民の役割分担の下、官民及び関連省庁一体となった取り組みによる低温物流整備の国際展開に貢献していく必要があります。

政策目標

- 我が国が低温物流網整備による食品ロスの削減を主導することにより、アジア太平洋地域の食料安全保障に貢献する。
- 高い成長力を有する途上国において、官民が連携し低温物流整備に必要な冷凍・冷蔵技術及び運用ノウハウのトータルパッケージとしての輸出環境を整備することで、途上国におけるフードバリューチェーン構築を推進する。

<主な内容>

1. 冷凍・冷蔵技術や運用ノウハウの普及に関する国際会議の開催

APEC参加国・地域の公的セクターと民間セクターが参加する会議を開催し、我が国の企業が持つ冷凍・冷蔵技術及び運用ノウハウの共有を図ります。また、APEC冷凍・冷蔵技術普及ネットワーク（仮称）を設置し、今後の低温物流網整備の推進に向けた環境を整えます。

2. 冷凍・冷蔵技術等の情報の発信

既存の情報発信ツール（APIP）を活用し、「1」の会議結果とともに、様々な冷凍・冷蔵技術等の情報を発信します。

（ 委託先：民間団体等
事業実施期間：平成27年度 ）

[お問い合わせ先：大臣官房国際部国際経済課（03-6738-6156（直））]

アジア太平洋地域における農水産物・食品に関する冷凍・冷蔵技術普及支援事業（新規）

APEC参加国・地域の途上国の現状・課題

◆低温物流網の未整備による収穫後の食品ロス(ポスト・ハーベスト・ロス)が、食料安全保障上、問題

- ・FAOのフード・ロスの調査研究報告によると、低所得国(APEC地域のアジア地域(中国除く)・中南米が該当。)では、主として、果実、野菜、食肉および魚介類などの生鮮食品の劣化・腐敗等による収穫後のロスが多い。また、フード・ロスの対策として、低温物流網の整備を提言
- ・APEC では、食料安全保障強化の観点からフード・ロスの削減に向けた取り組みの重要性が議論され、その削減に向けた取組が首脳宣言により指示
- ・ABAC諮問委員会(APECの首脳が指名したビジネス界の代表で構成)は、フード・ロスの削減のため冷凍・冷蔵技術の効果的な活用を提言

◆経済成長著しい国において、経済発展に伴う食生活の多様化等(冷凍・冷蔵食品需要の増加等)を背景に低温物流網整備への要望

事業内容

➤冷凍・冷蔵技術や運用ノウハウの普及に関する国際会議の開催

[対象]

- ・民間セクター(生産者団体、流通、販売業者等)
APEC域内の食料安全保障に取り組んでいる官民対話の「場」を活用し招聘
- ・公的セクター(農業関連省庁のみならず、インフラ整備、物流担当省庁)
インフラ整備や物流を担当するAPECの既存枠組みと連携し招聘

[内容]

- ・現状・課題を共有の上、我が国の持つ冷凍・冷蔵技術及び運用ノウハウの共有
- ・APEC冷凍・冷蔵技術普及ネットワーク(仮称)の設置
等

➤冷凍・冷蔵技術等の情報の発信

既存の情報発信ツール(APIP)を活用し、本会議の結果とともに、様々な冷凍・冷蔵技術等の情報を発信する。

《会議イメージ》



《既存情報ツール》

